

船舶事故調査報告書

平成29年1月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成28年5月8日 14時00分ごろ
発生場所	京都府舞鶴市舞鶴港第3区 舞鶴港戸島灯台から真方位271°660m付近 (概位 北緯35°29.6′ 東経135°19.9′)
事故の概要	プレジャーボート愛花夢は、帰航中、舞鶴港第3区の白杉の東岸に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成28年9月7日、主管調査官（神戸事務所）を指名原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 愛花夢、5トン未満（長さ8.55m）
船舶番号、船舶所有者等	271-32577 京都、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	推進器に破損、船底部に擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北東、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮汐 高潮時
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、家族1人（以下「同乗者」という。）を乗せ、舞鶴市冠島付近での釣りを終え、舞鶴港の定係場所に向かって約18ノットの対地速力で手動操舵により帰航していた。</p> <p>本船は、戸島西方沖を南南西進していたころ、船長が、眠気を感じたが、約7～8分で定係場所に到着する予定であったので、大丈夫と思い、航行していたところ、居眠りに陥り、舞鶴港白杉の東岸に乗り揚げた。</p> <p>船長は、本事故発生場所付近の航行経験が約200回あった。</p> <p>船長は、乗り揚げた衝撃で目が覚め、海上保安庁に通報した。</p> <p>同乗者は、船尾甲板の椅子に船尾方を向いて腰を掛けていたので、陸岸に向かって航行していることに気付かなかった。</p>
分析	本船は、戸島西方沖を南南西進中、船長が居眠りに陥ったことから、舞鶴港白杉の東岸に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、船長が、戸島西方沖を南南西進中、居眠りに陥ったため、舞鶴港白杉の東岸に乗り揚げたものと考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 操船中に眠気を感じた場合は、外気に当たったり、椅子から立って体を動かしたりするなどして眠気を払うこと。 ・ 操船中に眠気を感じた場合は、同乗者に見張りを依頼すること。